

ほうろう用「メタリック調」 加飾材料の開発

背景

車や家電品等では、表面がキラキラとラメ状に反射する、いわゆるメタリック調と呼ばれる塗装が広く用いられており、その独特の高級感は、消費者へのアピールポイントの一つとなっています。佐賀県窯業技術センターではそれまで陶磁器にはなかった「メタリック」調の加飾ができる光彩上絵（Metallic Style Glass ; MSG）を開発し、特許（第6635610号）を取得しました。現在、佐賀県内陶磁器製造企業等14社へ技術移転を進めており、一部は商品化されています。



光彩顔料（市販品）



メタリック調塗装（自動車）
光彩顔料が樹脂に分散されている



メタリック調光彩上絵（MSG）試作品
（左；陶磁器製アクセサリ、右：陶磁器製皿）



一方、ほうろう製品においてもこれまでメタリック調の加飾はありませんでしたが、陶磁器上絵とほうろう用の上釉の特性が非常に似ていることから、当センターではMSGの適用拡大の可能性を探求してきました。

目的 ほうろう用「メタリック調」上釉の加飾材料の開発

手段 「メタリック調」陶磁器用光彩上絵（MSG）技術を応用

結果 ほうろう製品では表現できなかった「メタリック」調の質感を持つ加飾材料の開発に成功しました。（特許出願中）

◎特徴

- ・光彩顔料が上釉中でキラキラとラメ状に光り且つ、表面光沢がある「メタリック」調のほうろう製品が製造できます。
- ・光彩の強さの調整が可能で、また様々な色に着色できます。
- ・表面光沢があり、汚れが付きにくく、取れやすくなっています。
- ・焼成温度は、一般的なほうろう製品製造温度（上釉）に合わせ750～800℃です。



光彩ほうろう試作品（上釉としての加飾例）

開発した新しいメタリック調のほうろう加飾材料によって、加飾の多様性が期待できます。メタリック調独特な光の反射特性によって、新しいほうろう看板（サイン）などの用途も考えられます。